

公報仕様
特許、実用新案
第4.5版
(第1分冊)

平成31年4月実施

特許庁

本仕様書の適用範囲

本仕様書は、平成31年4月からインターネットを利用し発行する公開公報、登録実用新案公報、公表公報、再公表、特許公報及び公告公報（訂正）の仕様、及びインターネットを利用し発行した後にDVD-ROMに収録し発行する公開公報情報、登録実用新案公報情報、公表公報情報、再公表情報、特許公報情報及び公告公報（訂正）情報の仕様について規定したものである。

なお、本仕様書は、公報そのものの仕様を定めるものであって、公報を利用するためのハードウェアやソフトウェア等の仕様を規定するものではない。

1. 適用範囲

- (1) 物理フォーマット
- (2) 論理フォーマット
- (3) ディレクトリ／ファイルの構成
- (4) ファイル形式
- (5) 文字コード
- (6) 公報データ及び公報情報データの記録形式
- (7) 公報及び公報情報を管理するためのデータ、又は利用する際に必要なデータの記録方式

2. 適用時期

本仕様書は、平成31年4月以降に発行する公開公報、登録実用新案公報、公表公報、再公表、特許公報、公告公報（訂正）に適用する。

3. 引用規格

本仕様で引用した規格は、以下の通りである。

- ・ JIS X 0201-1976 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合
- ・ JIS X 0208-1997 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合
- ・ JIS X 0606-1998 情報交換用CD-ROMのボリューム及びファイル構造
- ・ JIS X 0609-1998 情報交換用非逐次記録高密度光ディスクのボリューム構造及びファイル構造
- ・ JIS X 6241-1997 120mmDVD-再生専用ディスク(ISO/IEC 16448)
- ・ TR X 0006-1998 DVD-再生専用ディスクのボリューム構造及びファイル構造
- ・ TR X 0008-1999 XML 1.0

4. 表記について

(1) 16進表記

16進表記法による数は、16進数字を()₁₆で囲って表す。

(2) 用語について

本仕様書で使用する用語を以下に示す。

- ・ 「公報」…インターネットを利用し発行する公報
- ・ 「公報情報」…インターネットを利用し発行した後にDVD-ROMに収録し発行する公報情報

仕様変更の概要

公報仕様 特許、実用新案 第4. 4版からの仕様変更の概要は、以下のとおり。

- ・ 公報データ作成方法の一部変更によるDVD-ROMボリューム記述子集合基本ボリューム記述子の記録内容の変更

その他、用語の見直し等、所要の変更を行った。

※ 今回の改版において、改元（2019年5月1日施行）に伴う特段の変更対応は行わない。PDFファイル及びXSLファイルは、新元号に対応予定。本仕様の表示例等の日付の新元号対応は、次回以降の改版にて順次対応。

公報仕様 特許、実用新案 第4. 4版からの変更点一覧

#	公報仕様第4.4版該当ページ	公報仕様第4.5版該当ページ	変更点	変更理由等
1	第一分冊 P10	第一分冊 P10	表2-1 DVD-ROMポリシー記述子集基本ポリシー記述子 (JIS X 0606) No.6, 7, 9, 10, 12, 13	公報発行情報の提供 方法変更対応
2	第一分冊 P34	第一分冊 P34	(a)第1レコードフォーマット No.1 公報仕様バージョン 公報仕様のバージョン番号を“45”に変更	公報仕様のバージョン 変更に対応
3	第一分冊 P35	第一分冊 P35	表2-1 抄録ファイル:第1レコードフォーマット 公報仕様のバージョン番号を“45”に変更	公報仕様のバージョン 変更に対応
4	第一分冊 P450	第一分冊 P450	(6)公開特許公報 (gat-a.dtd) DTD Versionを“V4.5-01-01,DATE 2019.04.01”に変更	公報仕様のバージョン 変更に対応
5	第一分冊 P451	第一分冊 P451	(6)公開特許公報共通 (gat-a-com.dtd) DTD Versionを“V4.5-01-01,DATE 2019.04.01”に変更	公報仕様のバージョン 変更に対応
6	第一分冊 P495	第一分冊 P495	表2-1 DVD-ROMポリシー記述子集基本ポリシー記述子 (JIS X 0606) No.6, 7, 9, 12, 13	公報発行情報の提供 方法変更対応

表2-1 DVD-ROMボリューム記述子集合基本ボリューム記述子 (JIS X 0606)

No	記述子内の バイト位置	名 称	内 容
1	9 - 40	システム記述子	スペースを記録する
2	41 - 72	ボリューム識別子	(注1)
3	121 - 124	ボリューム集合の大きさ	1
4	125 - 128	ボリューム順序番号	1
5	129 - 132	論理ブロック長	2048
6	319 - 446	出版者識別子	スペースを記録する
7	447 - 574	データ編集者識別子	スペースを記録する
8	575 - 702	応用システム識別子	スペースを記録する
9	703 - 739	著作権ファイル識別子	スペースを記録する
10	740 - 776	抄録ファイル識別子	スペースを記録する
11	777 - 813	書誌ファイル識別子	スペースを記録する
12	814 - 830	ボリューム作成日付及び時刻	公報マスタデータ作成日時 (YYYYMMDDHHMM0000)
13	831 - 847	ボリューム更新日付及び時刻	公報マスタデータ作成日時 (YYYYMMDDHHMM0000)
14	848 - 864	ボリューム失効日付及び時刻	指定しない (数値0)
15	865 - 881	ボリューム発効日付及び時刻	指定しない (数値0)

備考1 上記の内容の記録形式は、JIS X 0606-1998に従う。

備考2 上記以外の項目は、JIS X 0606-1998に従う。

表2-2 基本ボリューム記述子 (JIS X 0609)

No	記述子内の バイト位置	名 称	内 容
1	25 - 56	ボリューム識別子	(注1)
2	57 - 58	ボリューム順序番号	1 (DVD再生専用ディスク)
3	59 - 60	最大ボリューム順序番号	1 (DVD再生専用ディスク)
4	61 - 62	交換水準	2 (DVD再生専用ディスク)
5	63 - 64	交換最大水準	2 (DVD再生専用ディスク)
6	65 - 68	文字集合リスト	1
7	69 - 72	文字最大集合リスト	1

備考1 上記の内容の記録形式は、JIS X 0609-1998に従う。

備考2 上記以外の項目は、JIS X 0609-1998に従う。

2. 抄録ファイル

(1) 内容

抄録ファイルには以下の項目を記録する。

- ① 公報仕様のバージョン
- ② 発行日
- ③ 公報ボリューム番号
- ④ 公報発行当初からの一連番号
- ⑤ 公報に格納されている公報の種別
- ⑥ 文献番号の範囲(⑤の公報毎)
- ⑦ 収録対象外文献番号
- ⑧ 範囲外から収録した文献番号
- ⑨ 公報の件数(⑤の公報毎)

(2) ファイルフォーマット

制御文字CR・LFをレコードデリミタとするテキストファイル(CSV)形式とする。

第1レコードは固定長で、公報仕様のバージョン、発行日、公報ボリューム番号及び公報発行からの一連番号等を記録する。第2レコード以降は、公開公報・公表公報・再公表、登録実用新案公報の場合、固定長で、特許公報の場合、可変長となる。公報に記録する公報種別分存在し、各レコードには公報種別、文献番号の範囲、収録対象外文献番号、範囲外から収録した文献番号、公報の件数等を記録する。(収録対象外文献番号、範囲外から収録した文献番号は特許公報の場合のみ記録する。)

すなわち、公開特許公報、公開実用新案公報を記録してある公報の場合、抄録ファイルには3レコード存在する。

(a) 第1レコードフォーマット

第1レコードのフォーマットを表2-1に、各項目の説明を以下に示す。特に明示していない限り、文字コードは1バイトコードを使用する。

No.1 公報仕様バージョン

公報仕様のバージョン番号を2桁で“45”と記録する。

No.2 区切り文字(カンマ)

項目を区切る“,”を記録する。

No.3 発行日

公報の発行日を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③	④	⑤	④	⑥
長さ	2	2	6	1	2	1	2
内容例	平	29	(2017)	.	04	.	01

- ① 元号： 元号の先頭1文字を記録する。
- ② 和暦年： 和暦年を2桁で記録する。
- ③ 西暦年： 西暦年を4桁で、括弧で括って記録する。
- ④ デリミタ： ペリオド“.”を記録する。
- ⑤ 月： 月を2桁で記録する。

- ⑥ 日： 日を2桁で記録する。
 ① は2バイトコード、その他は1バイトコードとする。

No. 4 公報ボリューム番号

公報を一意に識別するボリューム番号を次のフォーマットで記録する。

項目番号	①	②	③	④	⑤	⑥
長さ	2	2	2	6	1	3
内容例	登	平	29	(2017)	-	999

① 公報・公報情報種別：

- 《公開公報・公表公報・再公表の場合》 “未”を記録する。
 《特許公報の場合》 “登”を記録する。
 《登録実用新案公報の場合》 “実”を記録する。

- ② 元号： 元号の先頭1文字を記録する。
 ③ 和暦年： 和暦年を2桁で記録する。
 ④ 西暦年： 西暦年を4桁で、括弧で括って記録する。
 ⑤ デリミタ： ハイフン“-”を記録する。
 ⑥ 年間の一連番号： 発行する媒体ごとに年間の一連番号を001から始まる3桁で記録する。（公報情報（公開公報、登録実用新案公報、公表公報、再公表、特許公報）は、インターネットを利用し発行する公開公報、登録実用新案公報、公表公報、再公表、特許公報の値を記録する。）

①、②は2バイトコード、その他は1バイトコードとする。

No. 5 公報発行からの一連番号

《公開公報・公表公報・再公表の場合》

インターネットを利用し発行する公開公報は、DVD-ROM公開公報に続く一連番号を5桁で記録する。

《特許公報の場合》

インターネットを利用し発行する特許公報は、DVD-ROM特許・実用新案公報に続く一連番号を5桁で記録する。

《登録実用新案の場合》

インターネットを利用し発行する登録実用新案公報は、一連番号を00001から始まる5桁で記録する。

No. 6 レコード・デリミタ

制御文字CR・LFを用いる。

表2-1 抄録ファイル・第1レコードフォーマット

No	意味	長さ (バイト)	データ タイプ	内容例
1	公報仕様バージョン	2	文字	45
2	区切り文字 (カンマ)	1	文字	“,”
3	発行日	16	文字	平29(2017).04.01

(5) 公開特許公報(gat-a.dtd)

```
<?xml version="1.0" encoding="EUC-JP" ?>
<!--*****-->
<!--DTD Version:V4.5-01-01, DATE 2019.04.01 -->
<!--*****-->
<!ENTITY % gat-a-com SYSTEM "gat-a-com.dtd">
%gat-a-com;

<!ELEMENT jp-official-gazette (
    bibliographic-data,
    jp:image-of-bibliographic-data,
    jp:image-of-chosen-drawing?,
    jp:abstract-correction?,
    description,
    claims,
    abstract?,
    drawings?,
    jp:reference-file-article?,
    jp:written-amendment-group?,
    jp:overflow?,
    jp:foreign-language-body?) >
<!ATTLIST jp-official-gazette kind-of-jp (A | U) #REQUIRED
    kind-of-st16 (A | U) #REQUIRED
    lang CDATA #REQUIRED
    dtd-version CDATA #IMPLIED
    file CDATA #IMPLIED
    status CDATA #IMPLIED
    id ID #IMPLIED
    country CDATA #REQUIRED
    xmlns:jp CDATA #FIXED "http://www.jpo.go.jp" >
```

(6) 公開特許公報共通 (gat-a-com.dtd)

```
<?xml version="1.0" encoding="EUC-JP" ?>
<!--*****-->
<!--DTD Version:V4.5-01-01, DATE 2019.04.01 -->
<!--*****-->
<!ENTITY % in-application-body "(description | claims | abstract | drawings | p | claim | figure | jp:reference-file-article | invention-title)" >

<!ENTITY % in-bibliog "jp:amendment-group" >

<!ELEMENT bibliographic-data (
    publication-reference,
    application-reference,
    invention-title,
    parties,
    priority-claims?,
    dates-of-public-availability?,
    classification-ipc,
    classification-national?,
    number-of-claims?,
    figure-to-publish?,
    related-documents?,
    jp:request-for-examination,
    jp:filing-form?,
    jp:application-in-foreign-language?,
    jp:request-open-application?,
    jp:total-pages,
    jp:article-of-lack-of-novelty?,
    jp:filing-by-reference?,
    jp:article-of-public-order-and-morality?,
    jp:article-of-industrial-revitalizing-law?,
    jp:external-file-info?,
    jp:theme-code-info?,
    jp:f-term-info?) >
<!ATTLIST bibliographic-data id CDATA #IMPLIED
    lang CDATA #IMPLIED
    status CDATA #IMPLIED
    country CDATA #IMPLIED >

<!ELEMENT publication-reference (document-id) >

<!ELEMENT application-reference (document-id) >

<!ELEMENT parties (jp:applicants-agents-article, inventors) >

<!ELEMENT jp:applicants-agents-article (jp:applicants-agents+) >

<!ELEMENT jp:applicants-agents (applicant+, agent*) >
<!ATTLIST jp:applicants-agents sequence CDATA #REQUIRED >
```

本仕様書の適用範囲

本仕様書は、平成31年4月からインターネットを利用し発行する公開公報、登録実用新案公報、公表公報、再公表、特許公報の仕様、及びインターネットを利用し発行した後にDVD-ROMに収録し発行する公開公報情報、登録実用新案公報情報、公表公報情報、再公表情報、特許公報情報に係る長大データ（注1）の仕様について規定したものである。

なお、本仕様書は、長大データそのものの仕様を定めるものであって、長大データを利用するためのハードウェアやソフトウェア等の仕様を規定するものではない。

（注1）長大データとは、1件の公報において遺伝子関連出願の配列表等のデータが長大なものについて、当該部分のデータを別に収録したものである。

1. 適用範囲

- (1) 物理フォーマット
- (2) 論理フォーマット
- (3) ディレクトリ／ファイルの構成
- (4) ファイル形式
- (5) 文字コード
- (6) 長大データの記録形式
- (7) 長大データを管理するためのデータ、又は利用する際に必要なデータの記録方式

2. 適用時期

本仕様書は、平成31年4月以降に発行する公開公報、登録実用新案公報、公表公報、再公表、特許公報に係る長大データに適用される。

3. 引用規格

本仕様で引用した規格は、以下の通りである。

- ・ JIS X 0201-1976 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合
- ・ JIS X 0208-1997 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合
- ・ JIS X 0606-1998 情報交換用CD-ROMのボリューム及びファイル構造
- ・ JIS X 0609-1998 情報交換用非逐次記録高密度光ディスクのボリューム構造及びファイル構造
- ・ JIS X 6241-1997 120mmDVD-再生専用ディスク (ISO/IEC 16448)
- ・ TR X 0006-1998 DVD-再生専用ディスクのボリューム構造及びファイル構造
- ・ TR X 0008-1999 XML 1.0

4. 表記について

- (1) 16進表記
16進表記法による数は、16進数字を（ ）₁₆で囲って表す。
- (2) 用語について
本仕様書で使用する用語を以下に示す。
 - ・ 「公報」…インターネットを利用し発行する公報

表2-1 DVD-ROMボリューム記述子集合基本ボリューム記述子 (JIS X 0606)

No	記述子内の バイト位置	名 称	内 容
1	9 - 40	システム記述子	スペースを記録する
2	41 - 72	ボリューム識別子	(注1)
3	121 - 124	ボリューム集合の大きさ	1
4	125 - 128	ボリューム順序番号	1
5	129 - 132	論理ブロック長	2048
6	319 - 446	出版者識別子	スペースを記録する
7	447 - 574	データ編集者識別子	スペースを記録する
8	575 - 702	応用システム識別子	スペースを記録する
9	703 - 739	著作権ファイル識別子	スペースを記録する
10	740 - 776	抄録ファイル識別子	スペースを記録する
11	777 - 813	書誌ファイル識別子	スペースを記録する
12	814 - 830	ボリューム作成日付及び時刻	公報マスタデータ作成日時 (YYYYMMDDHHMM0000)
13	831 - 847	ボリューム更新日付及び時刻	公報マスタデータ作成日時 (YYYYMMDDHHMM0000)
14	848 - 864	ボリューム失効日付及び時刻	指定しない (数値0)
15	865 - 881	ボリューム発効日付及び時刻	指定しない (数値0)

備考1 上記の内容の記録形式は、JIS X 0606-1998に従う。

備考2 上記以外の項目は、JIS X 0606-1998に従う。

表2-2 基本ボリューム記述子 (JIS X 0609)

No	記述子内の バイト位置	名 称	内 容
1	25 - 56	ボリューム識別子	(注1)
2	57 - 58	ボリューム順序番号	1 (DVD再生専用ディスク)
3	59 - 60	最大ボリューム順序番号	1 (DVD再生専用ディスク)
4	61 - 62	交換水準	2 (DVD再生専用ディスク)
5	63 - 64	交換最大水準	2 (DVD再生専用ディスク)
6	65 - 68	文字集合リスト	1
7	69 - 72	文字最大集合リスト	1

備考1 上記の内容の記録形式は、JIS X 0609-1998に従う。

備考2 上記以外の項目は、JIS X 0609-1998に従う。



平成 3 0 年 1 0 月 発行

日 本 国 特 許 庁

〒100-8915 東京都千代田区霞が関
三丁目4番3号

電話 (03) 3581-1101 (代)

(問い合わせ先 総務部普及支援課)

公報仕様
特許、実用新案
第4.5版
(第2分冊)

平成31年4月実施

特許庁



平成 3 0 年 1 0 月 発行

日 本 国 特 許 庁

〒100-8915 東京都千代田区霞が関
三丁目4番3号

電話 (03) 3581-1101 (代)

(問い合わせ先 総務部普及支援課)